

重いハンディキャップのある子どもたちの テクノロジーを活用した教育&学習セミナー in 盛岡!

参加申込締切3月26日17時!

現地開催

オンライン開催 (Zoom)

どんなに障害が重くこれまで意思の表出が難しいとされていた人でも、身近になったテクノロジーを活用することで表出が可能となり、周囲とコミュニケーションが図れるようになります。「視線入力」等の最新のテクノロジーを使いこなせば、大きく生活の質を豊かに変えることができます。

日頃、視線入力やスイッチ操作の技術を広め、子どもたちや周囲の人たちを笑顔にしているエキスパート3名によるセミナーを開催します。午前は講演、午後は講演の補足説明と質疑応答を行います。現地参加またはオンライン参加のいずれかより選択できます。

日時 2020年3月29日(日) 9:20~14:40
場所 アイーナ いわて県民情報交流センター 7階 701
〒020-0045 岩手県盛岡市盛岡駅西通1丁目7番1号
内容 午前:講演 午後:質疑応答&補足説明
定員 約100名(現地50+オンライン50)
参加費 一般2,000円 学生1,000円 ※事前支払い(銀行振込・PayPay)
障害当事者につき介助者1名まで無料
呼吸器ユーザーの介助者は2名まで無料 付添:高校生まで無料



3月28日(土)
19:30より盛岡駅
周辺で懇親会を
開催します。
(定員先着20名)

【現地参加】

- ・講師と交流ができます
- ・支援機器の体験ができます
- ・盛岡の美味しいものが楽しめます

【オンライン参加】 *Zoom利用

- ・急な予定変更でも参加できます
- ・ケアしながらでも参加できます
- ・全国どこからでも参加できます

★申込先★



COVID-19の影響によりオンライン開催の可能性あります

Doorkeeper <https://bit.ly/380Jcjm>

講師

伊藤 史人



「けっこう重い知的障害のある児童への
視線入力によるアプローチ」

島根大学総合理工学研究所 助教

2015年に開発した視線入力訓練ソフト「EyeMoT」は、全国の支援学校等の約4割で導入されている。特別支援教育におけるテクノロジー活用の講演活動等を全国各地で行う。バリアフリーマップアプリ「WheeLog!」最高技術責任者。

福島 勇



「デキルことを活かしてコミュニケーションを
上げよう」

福岡市立今津特別支援学校 教諭

1989年以降、勤務校において重度・重複障害を含む肢体不自由児へのAAC(拡大・代替コミュニケーション)およびAT(支援技術)のコーディネートを担当するとともに、厚生労働省心身障害研究および特総研の研究協力員を務める。

引地 晶久 (オンライン登壇)



「テクノロジーの活用で「できる」「わかる」
を見つけよう！」

西部島根医療福祉センター 作業療法士

島根県の支援者へのIT支援の指導を行うだけでなく、全国の病院での研修会講師や家庭への訪問を行い、重症心身障害へのテクノロジー活用の普及活動を行っている。

金森 克浩 (オンライン登壇)



「すぐには役立つかもしれないけど
面白そうな支援技術」

日本福祉大学 スポーツ科学部 教授

2008年から9年間特総研において教育の情報化に関する手引やデジタル教科書、ICT活用に関するリーフレット作成などに携わってきた。また、【kintaのブログ】で特別支援教育におけるATやICTの活用について様々な情報を日々発信している。

COVID-19 感染症予防について

- ・風邪のような症状のある方は来場をお控えください
- ・マスク着用でご来場ください
- ・開催中に体調が悪化した場合は、直ぐに近くのスタッフにお申し出ください

主催 島根大学ヒューマンインターフェース研究室
後援 ぼけっとの会 重い障害の子供たち・人たちの地域生活を豊かにする会
ぼっぽの会 重い障がいがある在宅者の生活を豊かにする会
岩手県重症心身障害児(者)を守る会

問い合わせ

E-mail ictiwate2017@gmail.com
菊池直実 宛 (岩手県立一関清明支援学校)

